

令和8年度 入学試験問題

世界史

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認しなさい。
3. 受験票は、受験番号が見える面を上にして、机の上の受験番号シールと並べて置きなさい。
4. 受験票のほかに試験時間中机の上に置けるものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（黒い芯に限る。ボールペン付きは不可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）です。
5. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておきなさい。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
7. また、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
8. 監督者の指示があるまでは、試験室から退室できません。
9. 監督者の説明を聞いて、正しい符号の問題冊子と解答用紙が配布されているか、確認しなさい。
10. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の位置に受験番号シールを貼り付けなさい。なお、氏名は、どこにも書いてはいけません。
11. 問題は2ページから11ページまであります。試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて、すみやかに監督者に告げなさい。
12. 試験時間中気分が悪くなった場合は、監督者に申し出なさい。ただし、休養等に要した時間の延長は認めません。
13. 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、同日に受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
14. 解答用紙は必ず提出しなさい。問題冊子は持ち帰りなさい。

〔 I 〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

中国では春秋戦国時代に小国の併合が進み、7つの強国が対立するようになり、最終的には秦の始皇帝により統一が果たされ、皇帝を頂点とする国家が成立した。秦は短命のうちに滅ぶが、これを継いだ漢は安定した政権を樹立し、 a が新を建国したことによる中断はあるものの、前漢・後漢あわせて約400年にわたる統治を実現した。このように中国に強力な国家が出現したことは、中国と周辺地域の関係に影響を与えることとなった。

漢代では中国から周辺地域への進出が目立つ。漢は b 国を滅ぼし、華南からベトナム北部を領土に加えた。朝鮮半島では衛氏朝鮮を滅ぼし、 c 郡を設置した。魏晋南北朝時代になると、周辺民族の活動が活発化した。中国東北部で建国した高句麗は、4世紀には c 郡を滅ぼし朝鮮半島北部を支配した。朝鮮半島南部では小国が分立していたが、やがて馬韓・辰韓・弁韓へとまとまっていった。その後馬韓から d が、辰韓からは新羅が成立した。日本は中国から「 e 」と呼ばれていたが、邪馬台国の f が三国の魏へ使いを送り、「親魏 e 王」の称号を得た。その後日本では g 政権（王権）が成立し、南朝へと使いを送るなど、中国王朝との関係を維持していた。

魏晋南北朝時代の分裂が終わり、中国に再び強力な統一王朝が出現したことで、中国と周辺地域の関係はより密接なものとなっていった。

唐は当初領土の拡大を進め第3代皇帝の高宗の時に最大領域に達した。周辺地域に対する支配の方法は**羈縻政策**と呼ばれ、占領地の首長に官位を与えて統治を認めつつ、同時に h 府を設置して官僚を派遣し監督するといった間接的な方法が採用された。

一方、唐の周辺地域では中国の影響を受けて、国家の形成が進んだ。朝鮮半島では新羅が勢力を伸ばしていった。新羅は唐と結ぶことで d ・高句麗を滅ぼし、その後、唐の勢力を排除して支配を確立した。新羅は唐との関係も絶やさず、唐の制度を導入して国家を整備していった。日本も唐に使節を送り唐の制度や文化の吸収に努めた。唐はこれらの諸国からの朝貢を受け入れ、それに対して官位を与えることで君臣関係を結び、その支配や統治を認めるなどして国際的な秩序を構築していったのである。

(26 U世)

問1 文中の空欄 a～h を埋めるのに最も適切な語句を記せ（同一記号は同一語句）。

問2 下線部(A)について、

皇帝を頂点とする国家体制は、最後の王朝である清まで続いた。辛亥革命後の1912年2月に最後の皇帝であった宣統帝が退位して清は滅亡し、皇帝を頂点とする政治体制は終わりを迎えた。清の滅亡に先立つ、1912年1月1日中華民国臨時政府が成立したが、中華民国はアジアで初めての共和国であった。この政府の初代臨時大総統に就任した人物は誰か。

問3 下線部(B)について、

高句麗の滅亡後、中国東北地方には大祚栄がある国家を建国した。この国家の名称を答えよ。

問4 下線部(C)について、

新羅で採用された身分制度を何と呼ぶか。

問5 下線部(D)について、

日本では唐の影響を受けた文化が平城京で栄えた。この文化を何と呼ぶか。

問6 下線部(E)について、

(1) 唐の西方のチベット高原では、ソンツェン＝ガンボが小王国を統一して、唐とインドの影響を受けながら国家体制を整備していった。ソンツェン＝ガンボが建国した国名を漢字二字で答えよ。

(2) このように、中国の皇帝が周辺諸国の支配者からの朝貢を受け入れ、彼らに官位を与えて君臣関係を結び、その支配や統治を認めた体制を何と呼ぶか。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

中世の西ヨーロッパでは、ローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を有していた。教皇を頂点に、大 、修道院長、、司祭とつづくピラミッド型の階層制組織がつくられ、大 や修道院長などは荘園を持つ大領主でもあった。その下部には各農村に至るまで教会があった。教会は農民から 税を取り立て、独自の裁判権も持っていた。一方、皇帝や国王などの世俗権力は、しばしば本来は聖職者ではない人物（俗人）をその地位に任命し、教会に介入するようになった。それにより、聖職売買などの弊害が生じた。

このような状況に対して10世紀以降、フランス中東部の 修道院を中心に改革運動がおこった。教皇グレゴリウス7世はこの改革を推進し、聖職売買や聖職者の妻帯を禁じ、また、聖職者を任命する権利を世俗権力から教会の手に移して教皇権を強化しようとした。ドイツ国王（後の神聖ローマ皇帝）ハインリヒ4世はこれに反発し、ここから 権闘争がはじまった。ハインリヒ4世は改革を無視しようとしたため、ついに教皇は彼を した。さらに、ドイツ諸侯は が解除されなければ国王を廃位すると決定したため、1077年にハインリヒ4世はイタリアのカノッサで教皇に謝罪し、 が解除された。このことは、「カノッサの屈辱」とも呼ばれる。その後、1122年のヴォルムス協約で教皇側と皇帝側の妥協が成立し、ここに 権闘争は終結した。

教皇権が絶頂に達するのは、13世紀のインノケンティウス3世の時である。彼は、1202年に第4回十字軍を招集した。だが、資金や人員が不足していたことから、運搬を担当した 商人の要求に迫られて聖地回復の目的を捨て、 商人の商業上のライバルであったビザンツ帝国の を占領し、 帝国を建てた。

十字軍はその後も、1270年の第7回十字軍までおこされた。十字軍は、西アジアに以前から居住していたイスラーム教徒とキリスト教徒との間に対立をもたらしたとされる。しかし、十字軍国家が長く存続したことにともない、西ヨーロッパと西アジアとの文化的・経済的な接触や交流が促されたとも評価される。また、遠征を指揮した国王の権威が高まるという効果ももたらした。

問1 文中の空欄 a～h を埋めるのに最も適切な語句を記せ（同一記号は同一語句）。

問2 下線部 (A) について、

以下は、この教皇の言葉とされる。空欄イ、ロを埋めよ。

「教皇は であり、皇帝は である。」

問3 下線部 (B) について、

- (1) 第1回十字軍は、1095年にフランス中南部の町で開催された宗教会議において決議された。この宗教会議の名称を記せ。
- (2) 1189年には、最大規模の第3回十字軍がおこった。これを率いたイギリス王であり、「獅子心王」という異名を持つ王の名を記せ。
- (3) 第3回十字軍の際に、聖地警護のために創設され、13世紀以降はハンガリー、ポーランドに進出し、後のプロイセン王国の基盤を形成した宗教騎士団の名称を記せ。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

空想上の理想的国家にたいする憧れは古代より存在した。

古代アテナイの哲学者^(A)プラトンの主著『国家』では、哲学者によって厳格に統治される国家が描かれる。自身の師 の刑死に憤慨したプラトンは、民主政を批判して、「哲人政治」を主張した。

初期の西方キリスト教会最大の教父で^(B)「教会博士」の称号をもつ の主著『神の国』では、「神の国」が「地の国」との対比において論じられる。^(C)西ゴート人のローマ占領を契機に起こったキリスト教への非難に対抗して執筆された同書によれば、キリスト教の教会が現世に実現する「神の国」は、世俗的な国家とは異なり、けっして滅亡することがないという。

「ユートピア」の造語を作り出したのは15～16世紀イギリスの人文主義者 である。古典研究に傾倒して^(D)エラスムスと親交を結んだこの人物は、官僚最高位の大法官となるが、国王 の離婚問題や王権の強化に反対して投獄され、反逆罪で処刑された。その主著『ユートピア』に描かれるのは、平等で精神性に富んだ架空の国家である。そのユートピアの理想社会では、住民は簡素で清潔な衣服を身に着け、財産を私有しない。必要なものは公共の倉庫から誰もが無償で利用できており、貴金属は軽蔑されて奴隷用の装身具をなしている。人々はみな勤労の義務を有し、日ごろは6時間の労働を課されるが、空いた時間には芸術や科学研究を楽しむ。その理想社会の構想は、 が進行する当時のイギリス社会にたいする批判をなしている。15世紀末以来のイギリスにおいて領主や地主が解放耕地や共有地を農民から取り上げ生垣や塀で囲い込んで^(E)牧羊地にする動きは と称される。同国で羊毛生産が増大して、毛織物工業が盛んになった背景にはこの動きがあったが、一方では、暴力的に土地を追われた農民たちの浮浪化、極貧化が問題となった。

しかし、 のユートピアはかならずしも^(F)理想の場とはいえない。そこでは格差がない反面、人間が個性を否定されて厳格に管理されている。

のユートピアにはアメリゴ＝ヴェスプッチの航海の記録が反映されている。数度にわたり南アメリカを探検し、1501～02年の調査でそこをアジアではなく^(G)「新大陸」と確信したアメリゴ＝ヴェスプッチは、自らの小冊子でそれを主張した。

南海の島々にたいする憧れは近代においても続き、画家 f にも認められる。原始的な美を求めて 1891 年南太平洋のタヒチ島に移り住んだこの画家は、ゴッホやセザンヌ^(H)らとともにポスト印象派の画家として分類される。

問 1 文中の空欄 a～f を埋めるのに最も適切な語句を記せ（同一記号は同一語句）。

問 2 下線部 (A) について、

プラトン哲学の中心的概念で、同哲学において事物の本質、価値の範型をさし、すべての存在と認識の根拠とされた超越的原理を何というか。

問 3 下線部 (B) について、

同じく「教会博士」の称号をもつ教父で、ゲルマン人への布教や、侵入したランゴバルド人との講和、聖歌の作成などで活躍し、レオ 1 世とともに大教皇と呼ばれる教皇（在位 590～604 年）は誰か。

問 4 下線部 (C) について、

フランク王国建国の王で、西ゴート軍を破り、西ゴート王国の都がトレドに定められる契機をもたらしたのは誰か。

問 5 下線部 (D) について、

エラスムスが著した風刺文学の代表作で、聖職者や王侯の偽善・腐敗を辛辣に批判した書は何か。

問 6 下線部 (E) について、

羊飼いたちが穏やかに暮らす世界を描いた『牧歌』で後の文学や美術に大きな影響を与えた古代ローマの詩人で、トロイ滅亡からローマ建国までの英雄アエネアスの冒険をうたった叙事詩『アエネイス』の作者としても知られるのは誰か。

問7 下線部(F)について,

戦乱の世から逃れて外界との接触を断って暮らす人々の村を表した散文作品「桃花源記」の作者で、田園生活への憧れや山水の美をうたったことで名高い東晋の詩人(365頃～427年)は誰か。

問8 下線部(G)について,

ポルトガルの航海者カブラルが1500年に上陸し、トルデシリャス条約にもとづいて「新大陸」で唯一ポルトガル領と認められたのはどこの地域か。現在の国名で答えよ。

問9 下線部(H)について,

この画家の影響を受けてキュビズムの運動を推進し、「アヴィニヨンの娘たち」や「ゲルニカ」の代表作で知られる画家は誰か。

〔Ⅳ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

ラテンアメリカでは、アメリカ独立革命とフランス革命の影響を受け、18世紀末から独立運動が発生した。^(A) そのなかで最初の独立国となったのがフランス領のハイチ^(B)である。ハイチでは、フランス革命が進行中であった1791年8月に黒人奴隷が蜂起したものの、フランスの国民議会によって採択された人権宣言は植民地を想定したものでなかった。つまり、法の前の平等が謳われながらも、黒人は対象外とされたのである。

1793年に対仏大同盟が結成され、ヨーロッパで戦火が拡大すると、その影響はカリブ海にも及んだ。イギリス軍やスペイン軍がハイチに侵攻したため、現地では、黒人を奴隷状態から解放し、彼らに武器を与えて外国の軍隊と戦わせるといった方策が取られた。翌94年には、フランスの国民公会で植民地黒人奴隷制の廃止が宣言されている。奴隷蜂起の指導者であった [a] は、当初はスペイン軍に味方していたものの、後にフランス軍に加わり、1800年までにハイチのほぼ全域を平定した。

だが、1801年に [a] がハイチ独自の「憲法」を制定すると、ナポレオンは激怒し、[a] を逮捕してフランスに連行した。ナポレオンはハイチへの派兵と奴隷制の復活を命じたが、フランス軍は最終的に敗退し、ハイチは1804年に独立を宣言した。ハイチは世界初の黒人主体の共和国となったものの、国際的には孤立した。ベネズエラ出身の白人で、今日「ラテンアメリカ独立の父」とされる [b] は、ハイチとベネズエラの連帯を訴えつつも、ハイチの「有色人支配」については概して否定的だった。その後のラテンアメリカでは、[c] の指導のもとにアルゼンチンが独立するなど多くの新国家が成立した^(D)ものの、この地域でハイチを承認する国は1865年まで現れなかった。

フランスが正式にハイチの独立を承認したのは1825年になってからである。しかも、独立を「許可」する条件として多額の「賠償金」が課され、その支払いに百年以上の時間を要したことが、ハイチ経済に重くのしかかった。さらに、モノカルチャー^(E)の経済構造や国内政治の混乱が長期にわたって継続したことも、この国の発展を阻害した。

多くの奴隷州を有していたアメリカ合衆国は、自国の奴隷解放運動への影響を懸念

したこともあり、南北戦争中の1862年^(F)にようやくハイチ国家を承認した。当時のアメリカ大統領 [d] は、南軍との戦いを有利に進める意図もあって奴隷解放宣言の発表に踏み切ったが、依然として黒人に対する強い差別意識を持っていた。[d] は、白人と黒人の混血に嫌悪感を抱いており、そうした「人種混交」を防ぐべく、黒人を国外に移住させることを望んでいた。当時のアメリカ合衆国がハイチを国家承認した背景には、移住先候補の一つとして同国が想定されていたという事情もあった。

南北戦争後に急速な発展を遂げて「北の巨人」となったアメリカ合衆国は、19世紀末から海外への進出を本格化させた。同国は1898年の [e] 戦争により、フィリピンやプエルトリコを獲得したほか、1903年にはパナマ政府との条約によりパナマ地峡を永久租借地とし、^(G) その地に運河を建設した。特に、セオドア・ローズヴェルト^(H) 大統領によって推進された帝国主義的なカリブ海政策は、[f] 外交と呼ばれた。アメリカ合衆国は、1901年にキューバを事実上の保護国としたほか、ニカラグア占領(1912～33年)、ハイチ占領(1915～34年)、ドミニカ共和国占領(1916～24年)といった強引な対応を継続した。

問1 文中の空欄 a～f を埋めるのに最も適切な語句を記せ(同一記号は同一語句)。

問2 下線部(A)について、

18世紀後半から19世紀前半のヨーロッパやアメリカ大陸において、諸国家の独立や多様な変革運動が連鎖的に生じたことを何と呼ぶか。その名称を記せ。

問3 下線部(B)について、

カリブ海のイスパニョーラ島西部に位置し、17世紀末にフランス領となったこの地は、フランスによって何と呼ばれたか。その名称を記せ。

問4 下線部(C)について、

スペイン領ラテンアメリカ植民地生まれの白人は何と呼ばれたか。その名称を記せ。

(26 U世)

問5 下線部(D)について,

ラテンアメリカ諸国の独立に際し, ヨーロッパ列強による武力干渉がオーストリアのメッテルニヒらによって計画されたが, アメリカ合衆国は1823年に米大陸とヨーロッパ諸国との相互不干渉をとねえ, 結果としてラテンアメリカ諸国の独立を支援することになった。1823年にアメリカ大統領であった人物の名を記せ。

問6 下線部(E)について,

ラテンアメリカにおけるモノカルチャー経済の特徴と問題点を100字以内で説明せよ。ただし, 句読点は1字とせよ。

問7 下線部(F)について,

元々はアメリカ合衆国が1821年に獲得したアフリカ西海岸の植民地であり, 1862年にハイチと並んでアメリカ合衆国が承認したのはどの国家か。その国名を記せ。

問8 下線部(G)について,

アメリカ合衆国はパナマ運河に関わる権利を独占するため, パナマを新たに独立させ, その新国家と条約を結んだが, それ以前のパナマはどの国に属していたか。その国名を記せ。

問9 下線部(H)について,

セオドア＝ローズヴェルト大統領の仲介によって調印に至った日露戦争の講和条約は何か。その名称を記せ。